

「令和7年度新たなLGWAN相互接続機能の構築・機器保守等業務」意見招請結果に対する回答

項	区分	文書名	頁番号	章番号	節番号	小節番号	種別	意見	理由	回答
1	意見	調達仕様書	3	1				本件調達の範囲を明確に記載してはかがたでしょうか。	調達範囲である機器（保守含む）、回線（監視、保守含む）、設計資料（要件定義書、基本設計書、詳細設計書等）の見直し、運用ドキュメントの作成、システム構築などを整理して明記することにより提案者の理解度を一定に保つことができると考えるため。	御意見を踏まえ、「2 調達案件及び関連調達案件の調達単位、調達の方式等」の「(1) 調達範囲」として調達範囲を記載いたします。
2	質問	要件定義書	2	2	1	(1)		帯域制御装置に求められる機能や性能、ネットワークトポロジにおける設置場所等についてご教示ください。	資料閲覧で構成図に描かれていた帯域制御装置について、図2-3 新たなLGWAN 相互接続機能のシステム概要に帯域制御装置がなく、要件定義書でも触れられていないため。	御質問を踏まえ、要件定義書図2-3 新たなLGWAN 相互接続機能のシステム概要に帯域制御装置を追記しつつ、その他要件定義書中の関係箇所にも帯域制御装置に係る記載を追記します。入札資料にて御確認をお願いします。
3	質問	要件定義書	7	2	5			通信サービス、電子メール・ドメインネームサービス等の稼働率が99.99%以上とされた目標値と、障害復旧時間（復旧時間レベル1）8時間以内とされた目標値の関連性をご教示ください。	通信サービス、電子メール・ドメインネームサービス等の稼働率が99.99%以上とされていますが、障害復旧時間（復旧時間レベル1）を見ると8時間以内での復旧まで許容されていると思われま。1年365日計算で8時間の停止が発生した場合、稼働率は約99.9%となるため、稼働率と障害復旧時間の目標値の根拠等を確認したいため。	通信サービス等の稼働率が99.99%以上は、「表2-10 サービスレベル目標値（SLO）」の1～4項の障害対応ではない、平常時の稼働率のことです。一方で、2項の「復旧時間レベル1」においては、システム大規模障害発生時において、バックアップ拠点に切り替えるなどで、サービスを復旧させる目標値としております。
4	質問	要件定義書	9	3	1	(1)	ア	想定されている通信回線の回線種別があればご教示ください。	事業者により用意する回線の品質が異なることが想定されることから、回線のサービスレベルを確保するため。	帯域保証型回線を想定しています。
5	質問	要件定義書	9	3				構築・機器保守等業務において調達する機器が決まっていると認識してよろしいでしょうか。	資料閲覧で拝見した「基本設計書」において、別紙1に記載の具体的な機器を使うことが前提で構成図が作成されていたため。	設計段階では、実現可能性を確認するために想定機種で設計を行います。実施設計においては、異なる方式・機種においても要件が満たせる機器であれば、想定機器以外でも問題ありません。